

向日市

MUKO CITY



anniversary

Greetings

from the Mayor

ごあいさつ

明治22年、向日町、物集女村、寺戸村、森本村、鶏冠井村、上植野村の区域を以って向日町が誕生して以来、一度も合併や編入などを行うことなく、昭和47年10月1日に向日市制が施行されました。

以来、めまぐるしい社会情勢の変化や、幾多の困難に直面しながらも着実に発展を遂げ、本日ここに、市制施行50周年を迎えました。

記念すべきこの節目を迎えることができましたのも、自治の振興や住民福祉の向上、そして伝統文化の継承や教育の振興など、それぞれのお立場から、本市の発展にご尽力いただきました先人の方々はもちろんのこと、ご支援いただいた関係機関の方々、そして向日市のことを想う市民の皆さまの協力とご努力の賜物であります。言葉では意を尽くせませんが、改め

て心からの感謝を申し上げますとともに、私たちは、こうした皆さまの想いをしっかりと受け継ぎ、次の世代へと引き継いでいかなければなりません。

現在、向日市は新たなまちづくりにより大きく変化しようとしています。

特に、J R向日町駅周辺と森本東部地区においては、J R向日町駅の橋上化や東口の開設に向けた事業が進捗を見せる中、森本東部地区土地区画整理事業が進み、日本電産株式会社による新しい社屋が完成するなど、まちの様子が大きく変わってきており、市民の皆さまにもその変化が目に見えてお分かりいただけることと存じます。

また、耐震強度不足で閉館してしました市民会館も、永守重信様からご寄附いただき、今年度中に新しく開館する予定ですので、市民の皆さまの新しい活動の場として、今まで以上に活

用いただけるものと期待しております。

このように、今後50年、100年先も、引き続き向日市が発展し続けるように、先人の皆さまから受け継がれてきた美しい自然や、伝統・文化を大切に継承しながら、未来に向かって進化させることは、この時代を生きる私たちの役割だと考えております。

今後におきましても、向日市に暮らす全ての市民の皆さまが、今まで以上に暮らしやすく、そして誇りをもっていただける、魅力あるまちづくりに取り組んでまいりますので、皆さま方より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

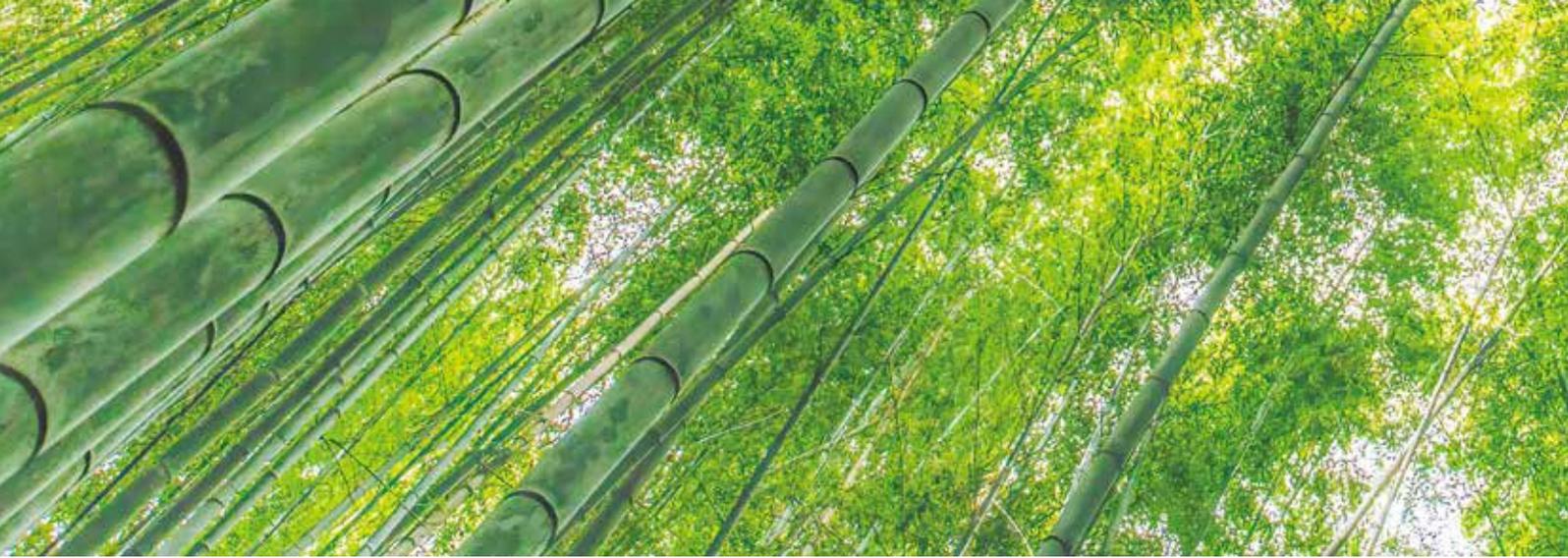
「つなごう、明日の向こうへ」

令和4年10月1日

向日市長

安田 亨





祝 辞



この度、向日市が記念すべき節目となる市制施行50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。また、長年にわたり市政の発展と地域福祉の向上のため御尽力された皆さまに対しまして、深く敬意を表しますとともに、引き続き、向日市の発展のため一層の御活躍をいただきますよう御期待申し上げます。

向日市は、かつての「長岡京」の中心である「長岡宮」が置かれ、わが国の政治、経済、文化の中心として栄えた地であり、また、史跡乙訓古墳群や向日神社、文化的景観である「竹の径」といった歴史・文化資源が幾層にも折り重なる類い希なる地域です。そして、こうした貴重な地域資源を活用するとともに、将来を見据えた活力と魅力あるまちづくりに邁進されており、現在、進捗が図られている森本東部地区土地区画整理事業

をはじめ、ＪＲ向日町駅東口の開設、駅周辺整備や阪急洛西口駅西地区まちづくりなど、今後もさらなる発展が見込まれるところであり、まさに地域の発展と市民サービスの向上が目に見える形で現れており、市民の皆さまも実感されているところと存じます。

京都府といたしましても安田市長との強い連携のもと、誰もが未来に夢や希望をもてる「あたたかい京都づくり」に尽力してまいります。

これからも市民の皆さまが力を合わせて、100年先も誇れるふるさと向日市の発展に取り生まれ、節目となる今年が輝かしい未来への新たな一歩となることを御期待申し上げますとともに、皆さまの末永い御健勝と御多幸を心より祈念申し上げます。

京都府知事
西脇隆俊

Message from the Governor

対

談

Conversation

日本電産株式会社社長・CEO

永守重信



向日市長

安田守



モーターの世界的メーカー「日本電産」は、2023年に創業50周年、向日市制と同じ半世紀の節目を迎えます。一代で同社を売上高2兆円企業に育て上げた永守重信会長は、向日市の出身。「故郷に恩返しをしたい」と、新市民会館を寄附され、本社～JR向日町駅間に同社の新拠点建設を計画。現在プロジェクトが進行中です。安田守市長と向日市の将来についてお話しいただきました。

安田 永守会長は私と同じ向日市物集女町のご出身ですが、子ども時代の思い出などお聞かせください。

永守 実家は農家で、私は六人兄弟の末っ子。子どもの頃はいつも近所の友だちと集まって、山の上の池で泳いだり、空き地で野球をしたり、のびのびと遊んだ記憶があります。貧しかったけれども、今と違ってノンビリした良い時代でした。向日市は良いところですよ。ただ長年見えてきて、周辺の自治体と比べてあまり発展してこなかった。そのことを残念に思っていたけれど、いま進行中のJR向日町駅東側の再開発事業が完成すれば、街は大きく発展すると思いますよ。

安田 向日町駅は明治9年の開業で、京都では一番古い鉄道駅なんです。京都駅よりも一年先輩です。ところが、長年、向日町駅や駅周辺が整備されなかったために、全体として発展が滞っていました。それが近年、阪急洛西口駅やJR桂川駅ができて、向日市もやっと変わってきたように思います。駅というのは、地域にとってそれだけ重要なんですね。

永守 向日町駅に東口を新設して、東



安田 守 氏 やすだ・まもる

1965年向日市生まれ。藤田学園保健衛生大学衛生学部（現・藤田医科大学医療科学部）卒業。日本大学大学院修了。大阪医科大学附属病院勤務を経て、向日市議会議員（1期）、京都府議会議員（2期）。2015年向日市長（第5代）に初当選、現在2期目。

る世帯が多い。ニデックパークのよう
な働く場所が市内にできれば、市外に
出る必要がなくなり、定住促進につな
がります。
永守 5千人の社員とその家族が向日
市に住めば、3人家族でも1万5千人増
える計算ですからね。交流人口が増えれ
ば、企業も進出して来るし、商店も増え
て、向日市はグンと活性化すると思いま
すよ。自治体は税収によって成り立って
いるわけですから、街を発展させるため

に、役所は人や企業をどのように呼び込
むかに知恵を絞る必要があります。
安田 行政サービスとは、すなわち住
民福祉。お預かりした税金で、住民の
幸せな生活を実現するお手伝いをする
ことです。ただ、住民福祉を向上させ
るためには、十分な財源が必要になる。
節約するばかりでは、市民の福祉は向
上しません。税収を増やしてこそ住民
福祉は充実するんです。
永守 私の夢は、市内に工場や研究所
をどんどん増やして行って、トヨタ自動
車の豊田市、パナソニックの門真市のよ
うに、向日市と日本電産が一体となって
発展する街にしたい。多くの古墳や美し
い竹林、懐かしい風景が残る向日市を、
市民の利便性を考えた職住近接の都市と
して整備すれば、魅力的な住みやすい街
に発展するでしょうね。

西自由通路もできるということなので、
人の流れがスムーズになって、既存の商
店街なども活気づくのではないですか。
安田 向日町駅の再開発では、駅舎に
直結した商業ビルと36階建てのタワーマ
ンションを建設する計画です。懸案だっ
た線路による東西の分断が解消されて、
にぎわいのある街づくりが実現すると思
います。そして、日本電産の第2本社ビ
ルなどが建設されることで、税収や交流
人口の増加が見込まれます。
永守 本社と向日町駅東側の間に広が
る約6万平方メートルを「ニデックパーク」
と名付けて、第2本社のほか、グルー
プ会社本社、技術開発センターなどを
集約する予定です。今年7月には、そ
の第1弾として本社の西側に10階建て
の1棟が完成しました。今後、順次建
設を進め、完成後はエリア全体で最大

駅周辺の整備が地域の活性化に。 「ニデックパーク」の完成で5千人 の雇用創出。職住近接の街へ。

5千人が働く当社の新拠点になります。
仕事でよく海外に出掛けますが、ボス
トンやパリ、ロンドンなどは、通勤が
便利ないように職場の周辺にベッドタウ
ンがあって、住宅街も美しく整然とし
ています。まさに「職住近接」。そうし
た都市は百年ぐらいかけて街づくりを
行っているそうです。
安田 仰るように、近くに仕事がない
と住み続けるのは難しい。向日市民も
夫婦で京都市や大阪府に働きに出てい



永守 重信 氏 ながもり・しげのぶ

1944年向日市生まれ。職業訓練大学校（現・職
業能力開発総合大学校）電気科卒業。73年に
28歳で日本電産を設立。80年代から国内外でM
&A戦略を展開し、同社を世界的な総合モーター
メーカーに育てる。また、2018年には京都先端
科学大学等を運営する学校法人永守学園理事長
に就任。日本の大学教育の変革とグローバルに
通用する即戦力の人材輩出を目指す。



春

Spring

阪急西向日駅南東の閑静な住宅街にある「桜の径」。まち並みの景観を生かした散歩道として整備されました。桜が満開となる時期の風景は特に美しく、お花見スポットとしても知られています。



向日市特産のタケノコ

秋 冬

美しい自然があふれ、古い歴史と豊かな文化が息づく私たちの向日市。四季折々の魅力を探しに、まち歩きに出掛けてみませんか。



五辻常夜燈

旧上田家住宅。史跡長岡宮内裏内郭築地回廊跡の上に明治43年に建築。昭和17年に約190m西の現在地に移転しました。都市近郊の伝統的形式をもつ農家住宅として国の有形文化財に登録されています。

夏

Summer

秋

Autumn

奈良時代の創建と伝わる向日神社は、乙訓地方を代表する古社です。本殿（国の重要文化財）に通じる参道は、秋の深まりとともに両側の並木が赤や黄色に色づき、紅葉のトンネルに彩られます。



向日市の 春 夏



市民の癒やしの散策路「竹の径」は、向日市の観光名所としてすっかり定着していますが、あまり知られていないのが雪景色。降雪によって一面が銀世界になると、幻想的な雰囲気になります。

冬

Winter



向日市のあゆみ

50 years

History of Muko City

1970

**向日、長岡京市
晴れてデビュー**

**「文化都市」めざし
きょう盛大
に記念式典**

1972.10.1 京都新聞

1980

希望の門出

**第四乙訓中
新校舎で開校式**

いい校風育てよう

らか式新儀 転入生も心新たに

1975.4.4 京都新聞

都市公園第1号の誕生祝う

市長らテープカット

向日市が初の都市公園として、同市向日町北山の向日神社境内約6800平方メートルを買取、このほど整備を完了した勝山公園のしゅん（竣）工式と開園式が1日午前10時半から同公園で行われ、出席者たちは古墳もそっくり保存した都市公園「第1号」の誕生を祝った。

待望の住民いこいの場

テープカットする中山市長（左）と木村市議会議長

1973.12.2 京都新聞

- 1972年10月 市制施行により向日市となる
- 11月 向日市民会館・中央公民館が開館
- 1973年4月 市立第4向陽小学校が開校
- 12月 市内初の都市公園・勝山公園が開園
- 1974年6月 市立第6保育所が開所
- 1975年4月 組合立第四乙訓中学校が開校
- 1975年4月 市立第5向陽小学校が開校
- 1977年11月 「向日市民憲章」を制定
- 向日市民の花（ヒマワリ・ツツジ）・木（孟宗竹・桜）を制定
- 第1回向日市まつりを市民会館と競輪場で開催
- 1978年4月 向日市老人福祉センター（現「桜の径」）が開所
- 1979年11月 公共下水道が供用を開始
- 1980年4月 市立第6向陽小学校が開校
- 1982年4月 市立寺戸中学校が開校。乙訓中学校が勝山中学校に、第四乙訓中学校が西ノ岡中学校に改称
- 10月 市制施行10周年を記念し、市の紋章を制定

1990



星空のロマンに感嘆 一般公開 天体観望会も開催

【向日市】向日市天文館が、市民の天体観望の機会を創出し、星空のロマンに感嘆を誘う。一般公開の天体観望会を開催する。観望会は、向日市天文館の天文台で行われ、観望の準備や観望の仕方などについて、天文館の職員が説明する。観望会は、向日市天文館の天文台で行われ、観望の準備や観望の仕方などについて、天文館の職員が説明する。観望会は、向日市天文館の天文台で行われ、観望の準備や観望の仕方などについて、天文館の職員が説明する。

1993.7.4 京都新聞

満10歳、祝い盛大に記念式典



紋章など制定発表 市政功労者ら表彰

【向日市】向日市が、市制施行10周年を記念し、紋章や市歌などを制定し、市政功労者らに表彰する。式典は、向日市市民体育館で行われ、向日市長が、紋章や市歌などを発表し、市政功労者らに表彰状を授け、激励した。紋章は、向日市の歴史や文化を象徴するデザインで、市歌は、向日市の発展を願う内容で、市民の愛唱を促す。市政功労者には、向日市の発展に貢献した功績を表彰し、激励した。

1982.10.4 京都新聞

シンボルマークにもなった鉄鐘（しび）も

おどろき・・・
カメラ
アングラ

出土品も数多く展示

長岡京の遺跡一堂に

向日市 模型や出土品展示

文化資料館、あすオープン

【向日市】向日市文化資料館が、長岡京の遺跡を一堂に展示する。模型や出土品などを展示し、長岡京の歴史や文化を紹介する。展示は、向日市文化資料館で行われ、あすオープンする。展示は、向日市文化資料館で行われ、あすオープンする。

1984.11.2 京都新聞

- 1999年3月 物集女新配水池が完成
- 1998年4月 向日市商工会が設立
- 1997年10月 市制施行25周年で「健康都市むこう」を宣言
- 1995年1月 向日市民温水プールが開館
- 1994年10月 平安建都1200年記念、長岡京から平安京への道をたどる歴史ウォークを行う
- 1994年11月 向日市福祉会館が開館
- 1993年7月 向日市天文館が開館
- 1992年10月 市制施行20周年を記念してかぐや姫行列を行う
- 1989年11月 向日市文化財調査事務所が開所
- 1988年10月 市で体操・自転車競技を実施
- 1986年10月 向日市民体育館が開館
- 1985年9月 向日市・中国杭州市友好交流協議書に調印
- 1985年9月 長岡京遷都1200年記念行列を行う
- 1984年11月 「世界平和都市宣言」を行う
- 1983年4月 向日市保健センターが開所
- 1983年4月 向日市文化資料館、向日市立図書館が開館
- 1983年4月 向日市・米国サラトガ市姉妹都市盟約を締結
- 1983年4月 向日市基本構想を改定、新しい『向日市総合計画』を刊行

向日市観光拠点「まちてらすMUKO」オープン



●地元野菜の輸出センターで産地直産品を販売し、観光客から向日市産品が買ってもらえる（平日のみ）
●向日市の観光拠点として、充実した情報交流センター



市民「駅から近く便利」

向日市観光拠点「まちてらすMUKO」が、向日市駅南口から徒歩5分、向日市観光交流センターとして、11月15日にオープンした。地元産品を販売するだけでなく、観光客から向日市産品を買ってもらえるという。また、観光客向けの情報交流センターとして、充実したサービスを提供している。

地元食材求めにぎわう

2016・11・15 京都新聞



2018・5・8 京都新聞

向日市役所東向日別館オープン



省エネ・防災強化 街の顔

展望レ

向日市役所新庁舎が開所

2021.1.21 京都新聞



向日の全3校 温かい食事楽しむ

2019.1.22 京都新聞

中学給食スタート

2019.1.22 京都新聞

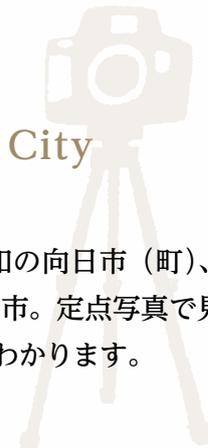
- 2015年2月 「向日市歴史的風致維持向上計画」（歴まち計画）が国の認定を受ける
- 3月 寺戸大塚古墳が国の史跡に指定
- 8月 向日神社の境内社など13棟が国の登録有形文化財となる
- 2016年2月 「竹の径・かぐやの夕べ」が国土交通省「手づくり郷土賞」大賞部門を受賞
- 3月 寺戸大塚古墳・五塚原古墳・元稻荷古墳・南条古墳・物集女塚古墳が乙訓古墳群として国の史跡に指定
- 「ふるさと向日市創生計画」を策定
- 2017年2月 第1回向日市ふるさと検定を実施
- 3月 「古都のむこう、ふれあい深める手話言語条例」を施行
- 2018年3月 「西向日・桜の径と住宅地景観」が京都府景観資産に登録される
- 向日市役所東向日別館が開館
- 向日市女性活躍センター「あすもあ」が開館
- 2019年1月 市立中学校の給食を開始
- 10月 ぐるっとむこうバスの運行を開始
- 向日市観光交流センター「まちてらすMUKO」が開館
- 2020年11月 向日市役所新庁舎が完成
- 2021年1月 「第2次ふるさと向日市創生計画」を策定
- 11月 国登録有形文化財旧上田家住宅が開館

いま むかし

写真で見る

Memories of Muko City

懐かしいあの日がよみがえる昭和の向日市（町）、
未来に向かって躍進する令和の向日市。定点写真で見
比べると、時代の移り変わりがよくわかります。



JR向日町駅



市役所庁舎



向日町消防署



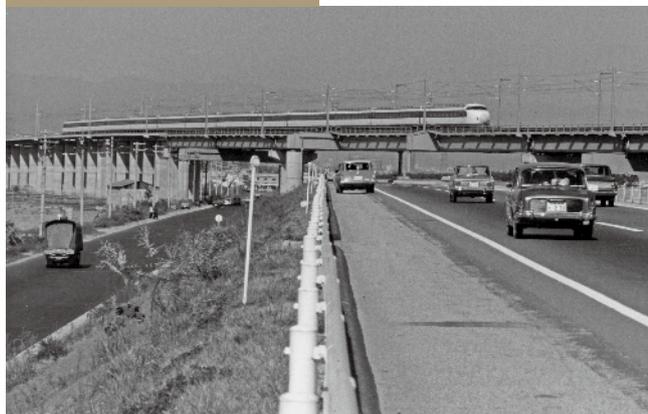
向陽小学校



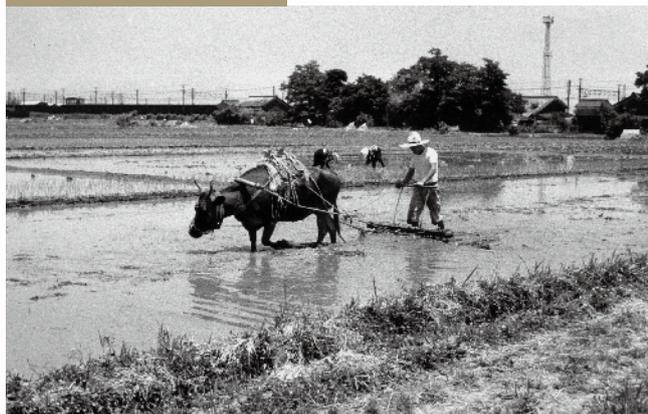
向日町商店街



上植野町脇田付近



森本町小柳付近



いま

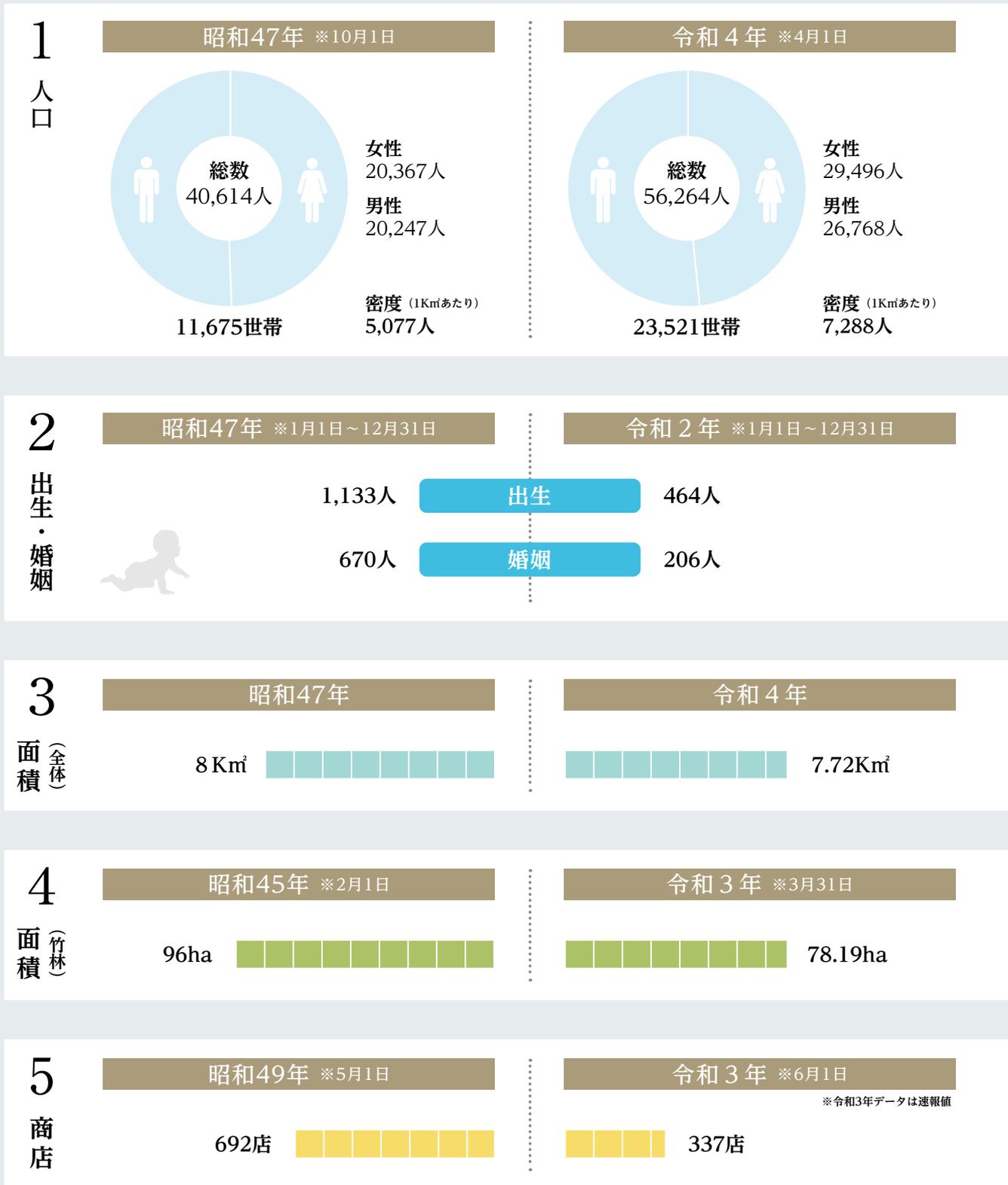
数字で見る

Numbers of Muko City

むかし

市民や産業、国土の状況、公共施設や交通機関の利用動向など、向日市の半世紀の変遷がひと目でわかる、さまざまな統計データを集めてみました。

※統計値の集計方法が現在とは異なる場合があります



6

鉄道
駅乗降
客数
(1日)



昭和45年

12,071人

JR「向日町」駅

令和元年

15,988人

16,677人

阪急「東向日」「西向日」駅

28,621人

7

農業



昭和45年

468戸



農家数

令和2年

274戸



8

学校



昭和47年 ※5月1日

令和4年 ※4月1日

1校

高等学校

2校

1校

中学校

3校

3校

小学校

7校

2園

幼稚園

3園

6園

保育園

15園

9

公園

昭和47年 ※4月1日

令和4年 ※4月1日

35園

116園

10

道路

昭和47年 ※4月1日

令和3年 ※4月1日

113,127m

総延長

138,350m

2,107m

国道

2,123m

14,840m

府道

12,663m

96,180m

市道

123,564m

11

事業所

昭和47年 ※7月1日

令和3年 ※6月1日

※令和3年データは速報値

1,291か所

1,667か所



MUKO CITY anniversary publication

向日市制施行50周年記念誌



〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野 20
☎ 075 (931) 1111 FAX 075 (922) 6587
HP <https://www.city.muko.kyoto.jp/>

発行日：令和4年10月1日